

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平6-83282

(43) 公開日 平成6年(1994)11月29日

(51) Int.Cl.⁵

B 2 5 C 5/16

識別記号

庁内整理番号

7234-3C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 2 頁)

(21) 出願番号 実願平5-30533

(22) 出願日 平成5年(1993)5月14日

(71) 出願人 000006301

マックス株式会社

東京都中央区日本橋箱崎町6番6号

(72) 考案者 金井 俊幸

東京都中央区日本橋箱崎町6番6号 マッ

クス株式会社内

(72) 考案者 片股 真幸

東京都中央区日本橋箱崎町6番6号 マッ

クス株式会社内

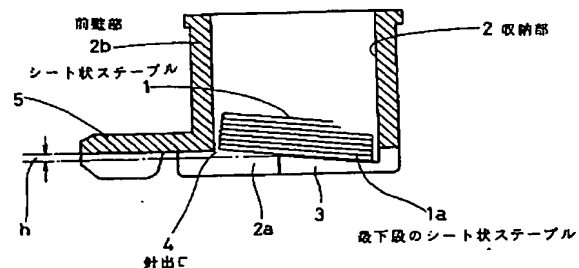
(74) 代理人 弁理士 瀬川 幹夫

(54) 【考案の名称】 電動ホッチキス用カートリッジ

(57) 【要約】

【構成】シート状ステープル1を多段に積層収納する収納部2の底部に針受け部3を形成するとともに、収納部2の前壁部2bの下面と針受け部3との間には上記針受け部3上の最下段のシート状ステープル1aを収納部2の前方に導出可能な針出口部4を形成したカートリッジにおいて、針受け部3を最下段のシート状ステープル1aの前端が前壁部2bの下端に係合する程度に傾斜させた。

【効果】針受け部3は最下段のシート状ステープル1aの前端が前壁部2bの下端に係合する程度に傾斜し、最下段のシート状ステープル1aの前端が針出口部4を向くことがないから、カートリッジの輸送時やカートリッジを電動ホッチキス本体に装着するときなどに振動、衝撃等が加えられても、最下段のシート状ステープル1aが針出口部4に飛び出すことが有効に防止される。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 真直状のステープル針をシート状に接着連結してなるシート状ステープルを多段に積層収納する収納部を有し、該収納部の底部にシート状ステープルの下面の両側縁を受ける針受け部を形成するとともに、上記収納部の前壁部の下面と針受け部との間には上記針受け部上の最下段のシート状ステープルを上記収納部の前方に導出可能な針出口部を形成したカートリッジにおいて、

上記針受け部を上記最下段のシート状ステープルの前端が上記前壁部の下端に係合する程度に傾斜させたことを特徴とする電動ホッチキス用カートリッジ。

【図面の簡単な説明】

*

2

*【図1】本考案に係る電動ホッチキス用カートリッジの正面図

【図2】図1のX-X線上の断面図

【図3】上記カートリッジの使用態様説明図

【図4】従来のカートリッジの断面図

【符号の説明】

1 シート状ステープル

1a 最下段のシート状ステープル

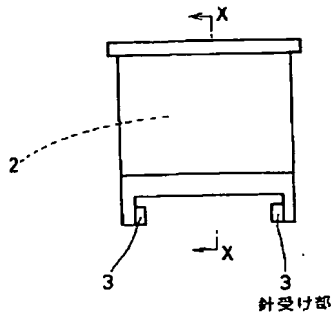
2 収納部

2b 前壁部

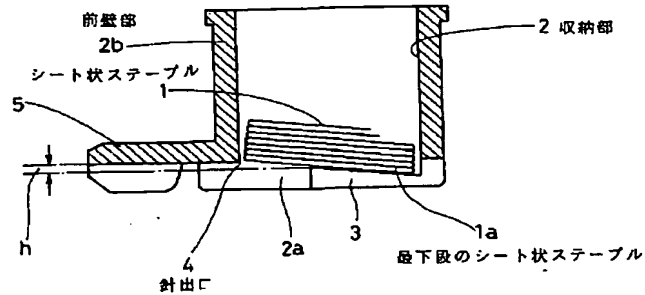
3 針受け部

4 針出口部

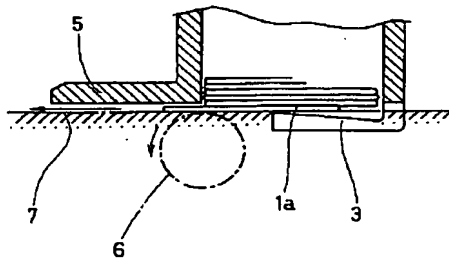
【図1】



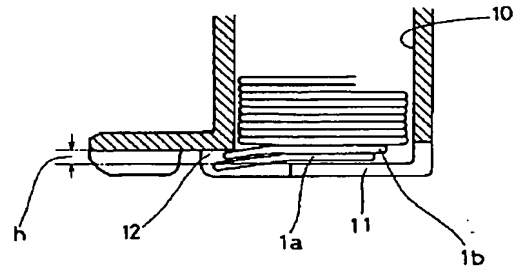
【図2】



【図3】



【図4】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は多段に積層収納したシート状ステーブルを針出口部から順に送り出すための電動ホッチキス用カートリッジに関するものである。

【0002】

【従来技術】

一般にこの種のカートリッジは、図4に示すようにシート状ステーブルの収納部10の底部に形成された針受け部（最下段のシート状ステーブルの両側縁を支持）11と針出口部12とを備え、電動ホッチキス本体の所定位置に装着されるものである。

【0003】

ところで、綴り時には電動ホッチキス本体に設けられた送りベルト、送りローラ等の送り手段が針受け部11上の最下段のシート状ステーブル1aの下面に当接し、該シート状ステーブルを針出口部12から送り出すが、その送り力は送り手段とシート状ステーブル1aとの摩擦力によって得られるから、送りを効率的にするためには最下段のシート状ステーブル1aを針受け部11から浮かせて両者間の接触摩擦をなくした状態で送り出す必要がある。したがって、針出口部12の高さ寸法hはシート状ステーブルの厚さと同じでは足りず、通常はシート状ステーブルの厚さの1.5倍程度に設定しなければならない。

【0004】

カートリッジの針出口部12の寸法には上述のような制約があるため、カートリッジ内に収納されたシート状ステーブル1が輸送時や電動ホッチキス本体に装着するときなどの振動、衝撃等によって、最下段のシート状ステーブル1aが単独で、あるいはその上のシート状ステーブル1bと重なり状態のまま針出口部12に飛び出してしまいう現象が生じ、これは送り不良の原因となる。

【0005】

【考案の目的】

本考案は前記欠点を解消し、特にカートリッジの針出口部からシート状ステー

ブルが飛び出すのを有効に防止することができる電動ホッチキス用カートリッジを提供することをその目的とする。

【0006】

【目的を達成するための手段】

前記目的を達成するため、本考案に係る電動ホッチキス用カートリッジは、真直状のステープル針をシート状に接着連結してなるシート状ステープルを多段に積層収納する収納部を有し、該収納部の底部にシート状ステープルの下面の両側縁を受ける針受け部を形成するとともに、上記収納部の前壁部の下面と針受け部との間には上記針受け部上の最下段のシート状ステープルを上記収納部の前方に導出可能な針出口部を形成したカートリッジにおいて、上記針受け部を上記最下段のシート状ステープルの前端が上記前壁部の下端に係合する程度に傾斜させたことを特徴とする。

【0007】

【考案の作用、効果】

前記構成によれば、カートリッジ内のシート状ステープルは針受け部上に支持され、カートリッジが電動ホッチキス本体に装着された後に、その送り手段により最下段のシート状ステープルから順に針出口部より導出される。

【0008】

ところで、上記針受け部は上記最下段のシート状ステープルの前端が上記前壁部の下端に係合する程度に傾斜しているから、最下段のシート状ステープルの前端が針出口部を向くことがない。したがって、カートリッジの輸送時やカートリッジを電動ホッチキス本体に装着するときなどに振動、衝撃等が加えられても、最下段のシート状ステープルが針出口部に飛び出すことは有効に防止される。よって、上記カートリッジによれば、シート状ステープルの送りを常に良好に保持することができる。

【0009】

【実施例】

図1、図2はそれぞれ電動ホッチキス用カートリッジの正面図及び縦断面図である。このカートリッジは真直状の多数のステープル針をシート状に接着連結し

てなるシート状ステープル1を多段に積層収納する収納部2を有する。収納部2の上下はほぼ開放され、その底部両側にはシート状ステープル1を支持する針受け部3が形成されている。針受け部3は収納部2の側壁部2aの下端から内側に突出して最下段のシート状ステープル1aの下面の両側縁を受けるものである。

【0010】

また、収納部2の前壁部2bの下面と針受け部3との間には、上記針受け部3上の最下段のシート状ステープル1を上記収納部2の前方に導出可能な針出口部4が形成されている。針出口部4の高さ寸法hは従来と同じく、シート状ステープル1の厚さの約1.5倍程度に設定されている。なお、上記前壁部2bの下面から前方には案内板5が突出形成されている。

【0011】

ところで、上記針受け部3は前上がりに傾斜するように形成されている。この傾斜の度合いは、図2に示されるように、針受け部3上の最下段のシート状ステープル1aの前端が上記前壁部2bの下端に係合する程度に形成されている。

【0012】

前記構成によれば、収納部2内には多数のシート状ステープル1が多段に積層状態で収納される。最下段のシート状ステープル1aの両側縁は針受け部3上に支持される。最下段のシート状ステープル1aの下面の中央部は開放されている。通常の場合、カートリッジの上部には蓋が取り付けられ、蓋の下面と最上部のシート状ステープルとの間にはシート状ステープル1を下方に付勢するバネ（図示せず）が配置されている。

【0013】

上記カートリッジの使用にあたっては、電動ホッチキス本体の所定位置に装着する。図3に示すように、最下段のシート状ステープル1aの中央部は電動ホッチキスに設けられた送り手段6と支持部7上に乗り上げ、針受け部3から浮き上げられる。そして、この状態で針出口部4から導出される。つまり、シート状ステープル1の送り手段6は、通常の場合シート状ステープル1の下方に配置された送りベルトや送りローラ等によって構成され、これらの送り手段6が回転すると、送り手段6とシート状ステープル1との間に生じる摩擦力によってシート状

ステーブル1が前方に送り出されるのである。

【0014】

ところで、上記針受け部3は上記最下段のシート状ステーブル1aの前端が上記前壁部2bの下端に係合する程度に傾斜しているから、最下段のシート状ステーブル1aの前端が針出口部4を向くことがない。したがって、カートリッジの輸送時やカートリッジを電動ホッチキス本体に装着するときなどに振動、衝撃等が加えられても、最下段のシート状ステーブル1aが針出口部4に飛び出すことは有効に防止される。よって、上記カートリッジによれば、シート状ステーブル1の送りを常に良好に保持することができる。

【0015】

なお、カートリッジの前方には成形手段とドライバとが配置されている。カートリッジから導出されたシート状ステーブル1は、案内板5と電動ホッチキス側の支持部7との間に形成された案内通路に沿って送り出され、前端のステーブル針から順に成形手段によりコ字形に成形された後、ドライバで被綴り材に向けて打ち込まれ、綴りが行なわれる。